



SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Apr.2024

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

2024年1月1日に発生した能登半島地震から3ヵ月以上経過しているがいまだに大きな爪痕を残している。復興が徐々に進んでいるものの引き続き愛媛・高知地震など大きな地震が発生している。国が毎年リスク評価している「主要活断層」の中で切迫度が高い活断層は全国で31もある。また、主要活断層にされていない調査の不十分な日本海海底に存在する活断層が多く存在することも過去から確認されており、今後の海域活断層の調査を見直すことも進められている。このような地震リスクの中で生活していることを今一度考え、仕事や私生活のリスクを軽減すべく各自の備えをあらためて再考していく必要があると考える。

サンシン電気株式会社
取締役 河原 崇

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

高野連 = 日本高校野球連盟などは、ことしの夏の全国高校野球について、新たな暑さ対策として、試合を午前と夕方に分けて行う2部制を導入することを決めました...との事。地球沸騰化といわれる昨今ですが、明らかに気温は上昇しており、伝統的なもの・ことでも柔軟な対応が必要になってきているように思います。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

Too much waste to landfills. We could use kitchen waste into treasure thus deduct production of waste. A balance between human beings and nature to achieve a win-win and mutual integration situation. E.g.:

- Wash the egg shell, dry it and then turn into vegetable fertilizer.
- Orange peel add baking soda, vinegar and water. Becomes nature detergent in a week. (M.L.)

CSI

セブのフルーツ。パイナップル・バナナ・マンゴー・パパイヤ・ドリアンをよく購入します。パイナップルは芯までおいしく食べられますが、バナナは芯が有り固い感じ。マンゴー・パパイヤはあたりはずれの差が大きいです。ドリアンは臭みがある方がおいしく頂けます。(K.S.)

SANSHINWest

全国で群発地震が活発化しています。本来、群発地震とは火山周辺目つ一定の狭い地域で断続的に地震が多発することですが、石川能登地震の前後を境に毎日のように列島中で発生しています。2030年代～2050年代に起こるとされる大規模地震について、最新研究では東西で震度7クラスの地震が比較的短い期間に連発する可能性があるとのこと。国難となり得る災害への最初の流れが始まったように思えてなりません。無理なく持続できる防災装備に取り組んでいこうと思います。(N.K.)

SHINKOWA

気候も春本番になって暖かい日が続いており、鶯も綺麗な鳴き声を聞かせてくれます。休日に公園など散歩に出かけますがとても清々しく気持ちが良いです。春が少し長めであると良いのですが、最近は直ぐ夏になってしまうので体調管理を怠らずに注意しましょう。(M.N.)

SC2

トイレ掃除にCMでよく見る「マジック●リン」や「サン●ール」を使っていますか？実はこれらの洗剤、浄化槽の微生物を死滅させてしまいます。お勧めは石けんです。除菌力がある一方、微生物のエサになります。使った後で自然に還る、生分解性の高い石けんを日常的に使いましょう。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

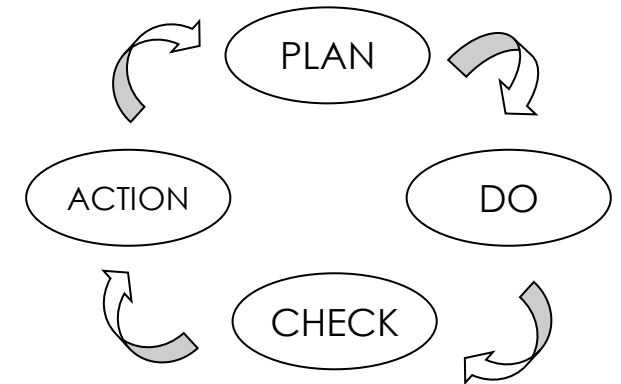
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

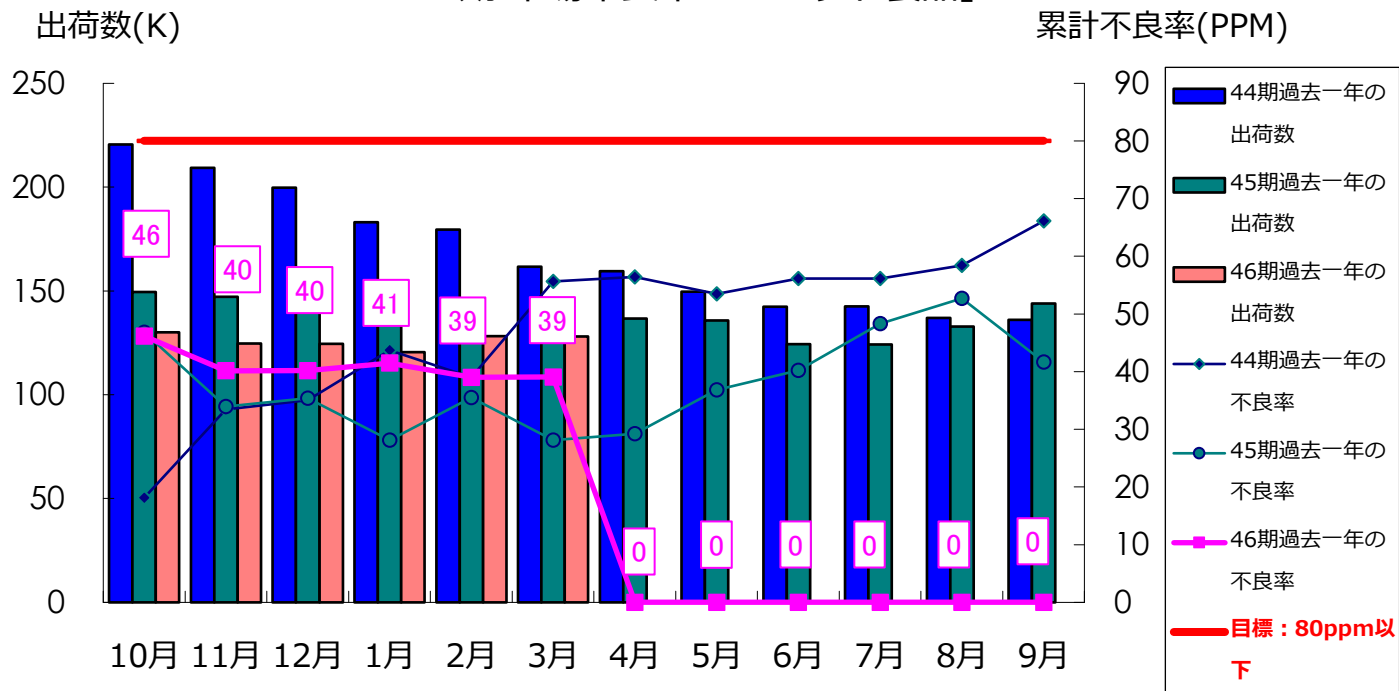
* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

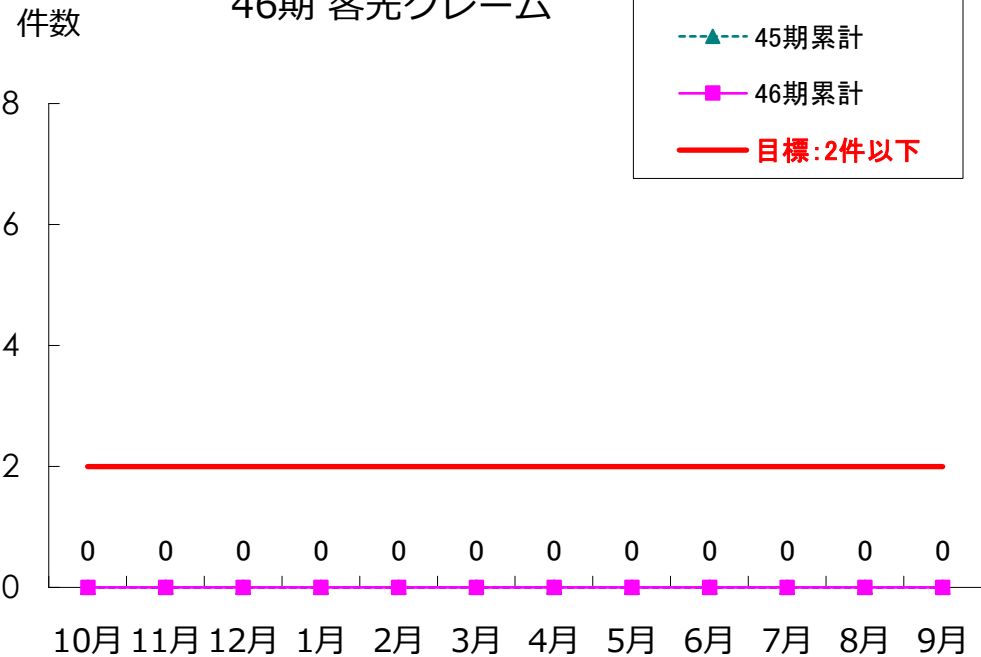
納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 46期の累計不良率(解析依頼含む) : 39ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件

46期 市場不良率「ユニット製品」



46期 客先クレーム



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

■ ISOマネジメントシステム規格に「気候変動への配慮」が追加されました

【変更の背景】

ISOは2023年9月にオーストラリアのブリスベンで年次総会を開催し、そこで技術管理委員会（TMB）は、気候変動に関するロンドン宣言に関連するISOの行動計画をサポートするためにマネジメントシステム規格がどのように役立つかについての提案を議論しました。その結果ISOは、既存のマネジメントシステム規格に2つの新しいテキスト声明を追加し、開発中・更新中のすべての新規規格に含めるという決議を行いました

【変更の内容】

ISOマネジメントシステム規格の共通構造を示した付属書SLに以下のような追加（下線部）がなされました。

4.1

組織は、その目的に関連し、そのXXXマネジメントシステムの意図された結果を達成する能力に影響を与える外部及び内部の課題を決定しなければならない。組織は、気候変動が関連する課題であるかどうかを決定しなければならない。

4.2

組織は以下を決定しなければならない。

- XXXマネジメントシステムに関連する利害関係者
- これらの利害関係者の関連する要求事項
- これらの要求事項のうち、どれがXXXマネジメントシステムを通じて対処されるか

注記：関連する利害関係者は、気候変動に関連する要求事項を持つことがある。

これらは、通常は次回の改訂で反映されるものですが、今回、この部分の追加に関して、全てのISOマネジメントシステム規格に急遽追加がなされることになり、2024/2/23に追補版（Amendment）という形で修正された規格が発行されました。

今月のTOPICS

【変更の目的】

この変更は、上記の通り、気候変動に関するロンドン宣言をISOマネジメントシステム規格の運用において支援することにあります。この変更によって、組織は、組織の課題や利害関係者の要求事項の中に気候変動に関するものがありうることを認識し、少なくともそれについて考慮することが期待されています。

【追補版への対応】

追補版に対して移行手順をとる必要はありません。IAFとISOの共同声明書では、“例えば労働安全衛生マネジメントシステムや道路交通安全マネジメントシステムの審査において、気候変動を不相応に考慮したものに変わることは、今回の変更の意図するところではない。”ということも記載されています。

It is not the intention of the changes to (for example) turn a health and safety management system audit or a road traffic safety management system audit into one that disproportionately considers Climate Change, though this does not of course understate the importance of Climate Change.

(出典) IAF, IAF/ISO Joint Communiqué on the addition of Climate Change considerations to Management Systems Standards(2024-02-22).

今月のTOPICS

☑ 対象となるISOマネジメントシステム規格
以下、31のマネジメントシステム規格が対象となります。

- 1.ISO 9001:2015 (品質マネジメントシステム－要求事項)
- 2.ISO 14001:2015 (環境マネジメントシステム－要求事項及び利用の手引)
- 3.ISO 45001:2018 (労働安全衛生マネジメントシステム－要求事項及び利用の手引)
- 4.ISO/IEC 27001:2022 (情報セキュリティマネジメントシステム－要求事項)
- 5.ISO 22000 (食品安全マネジメントシステム－フードチェーンのあらゆる組織に対する要求事項)
- 6.ISO 50001:2018 (エネルギーマネジメントシステム－要求事項及び利用の手引)
- 7.ISO 22301:2019 (事業継続マネジメントシステム－要求事項)
- 8.ISO/IEC 20000-1:2018 (サービスマネジメントシステム要求事項)
- 9.ISO 22163:2023 (ISO 9001:2015および鉄道分野での適用に関する特定要求事項)
- 10.ISO 39001:2012 (道路交通安全(RTS)マネジメントシステム－要求事項及び利用の手引)
- 11.ISO 28000:2022 (セキュリティマネジメントシステム－要求事項)
- 12.ISO 30401:2018 (ラッジマネジメントシステム－要求事項)
- 13.ISO 21001:2018 (教育組織に対するマネジメントシステム－要求事項及び利用の手引)
- 14.ISO 41001:2018 (ファシリティマネジメント－要求事項及び利用の手引)
- 15.ISO 44001:2017 (提携事業関係のマネジメントシステム－要求事項及び枠組み)
- 16.ISO 37001:2016 (贈収賄防止マネジメントシステム－要求事項及び利用の手引)
- 17.ISO 21401:2018 (宿泊施設の持続可能性マネジメントシステム－要求事項)
- 18.ISO 21101:2014 (アドベンチャーツーリズム－安全マネジメントシステム－要求事項)
- 19.ISO 37101:2016 (持続可能な開発のためのマネジメントシステム－要求事項及び利用の手引)
- 20.ISO 19443:2018 (原子力安全にとって重要な(ITNS)製品及びサービスを供給する核燃料部門のサプライチェーン内の組織によるISO 9001:2015の適用に関する特定要求事項)
- 21.ISO 29001:2020 (部門別品質マネジメントシステム－製品及びサービス供給組織に対する要求事項)
- 22.ISO 16000-40:2019 (室内空気－第40部：室内空気の品質マネジメントシステム)
- 23.ISO 15378:2017 (医薬品の一次包装材料－適正製造規範(GMP)に準拠したISO 9001:2015の適用のための特定要求事項)
- 24.ISO 30301:2019 (記録のためのマネジメントシステム－要求事項)
- 25.ISO 34101-1:2019 (カーボンの持続可能性マネジメントシステムの要求事項)
- 26.ISO 35001:2019 (研究所及びその他の関連組織のバイオリスク管理)
- 27.ISO 37301:2021 (コンプライアンスマネジメントシステム－仕様に関するガイド付きの要件)
- 28.ISO 46001:2019 (水効率マネジメントシステム－使用ガイド付きの要求事項)
- 29.ISO 14298:2021 (グラフィック技術－一般証券印刷プロセスの管理)
- 30.ISO/IEC 19770-1:2017 (ITアセットマネジメントシステム－要求)
- 31.ISO 18788:2015 (プライベートセキュリティ業務のマネジメントシステム－要求事項及び使用の手引)

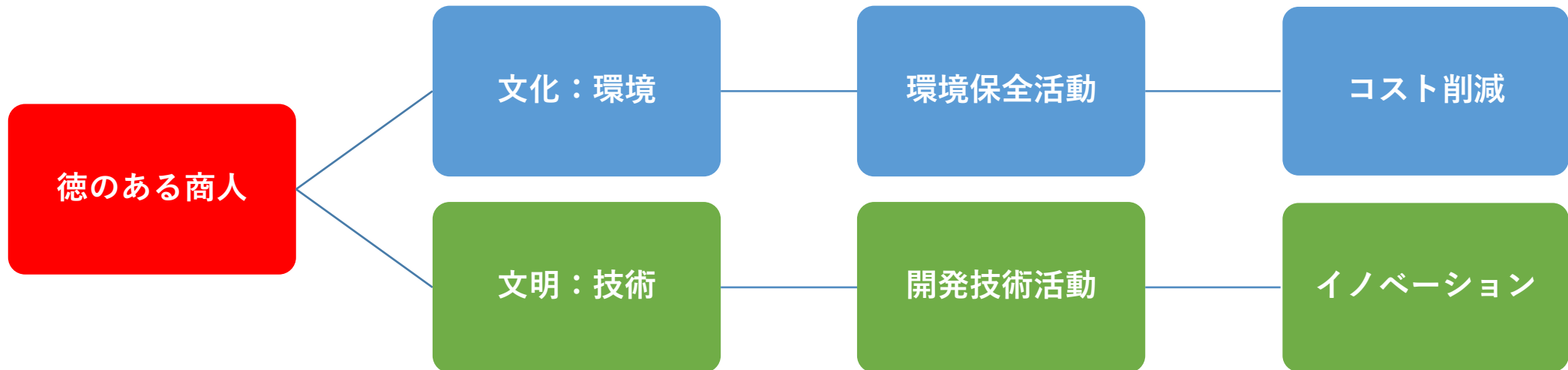
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

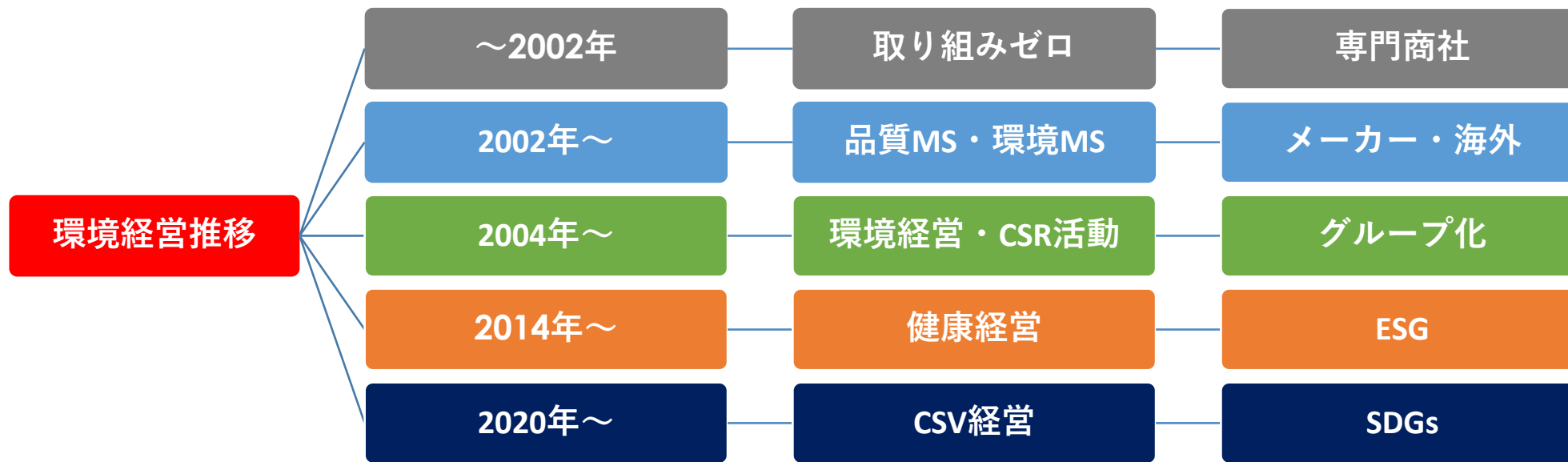
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

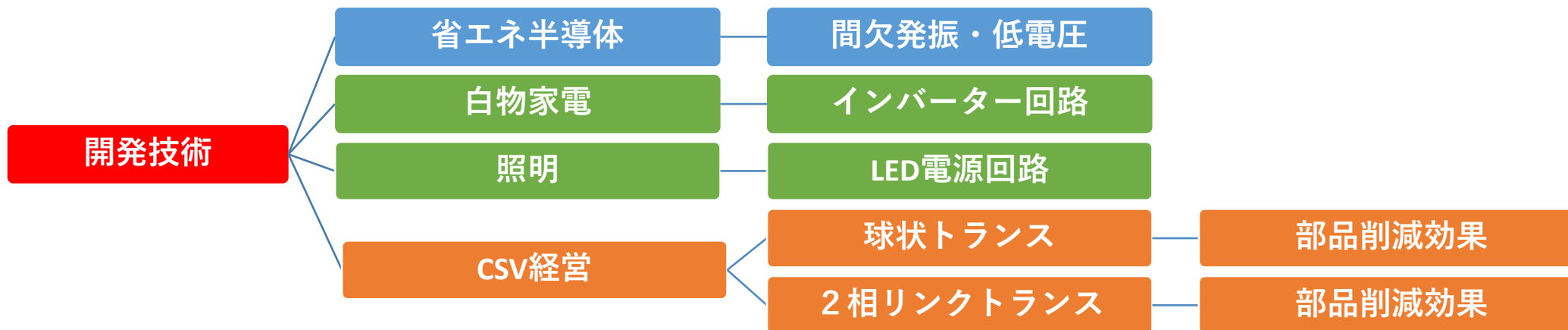
3. コスト削減実績

- **紙/ゴミ/電気**, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - **テレワーク**による電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ **グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！**

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシンググループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



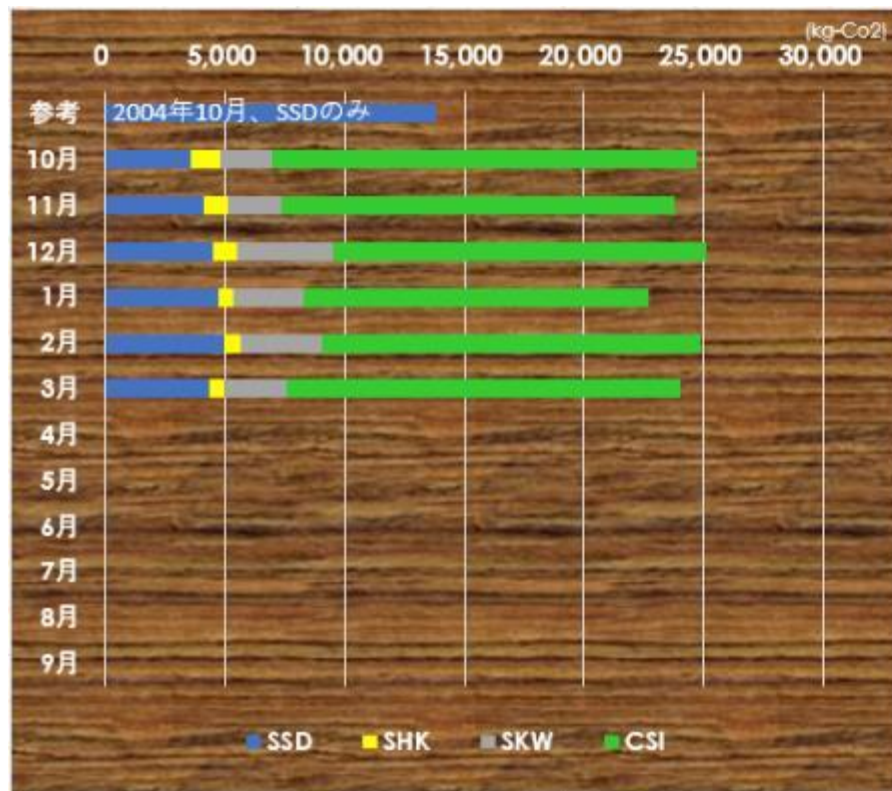
活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

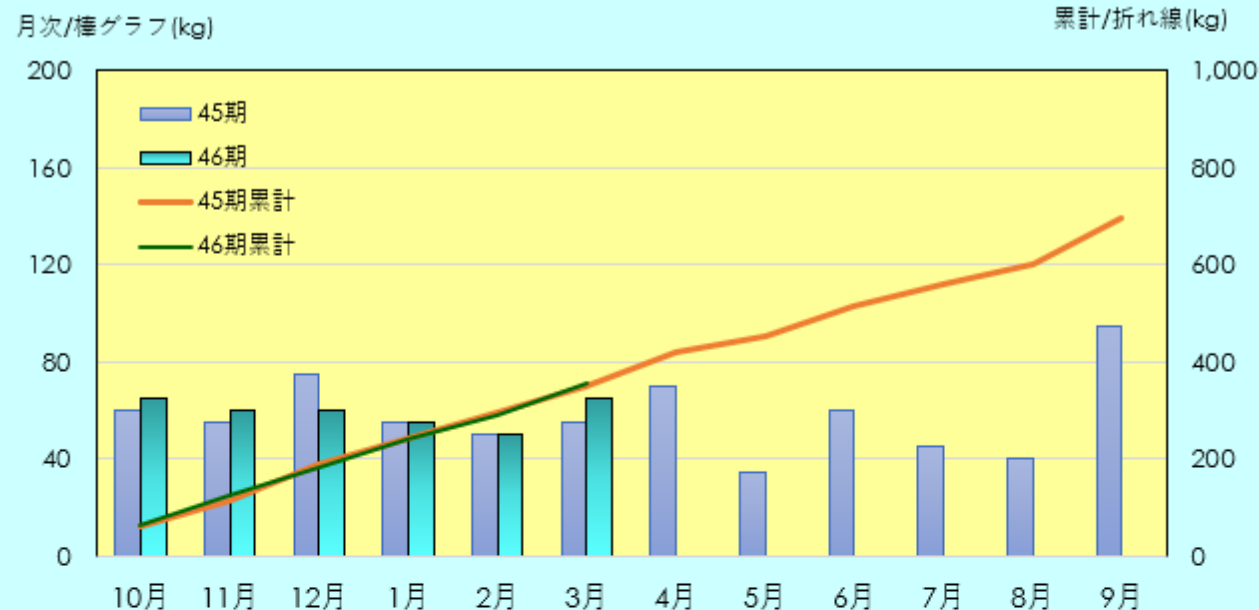
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

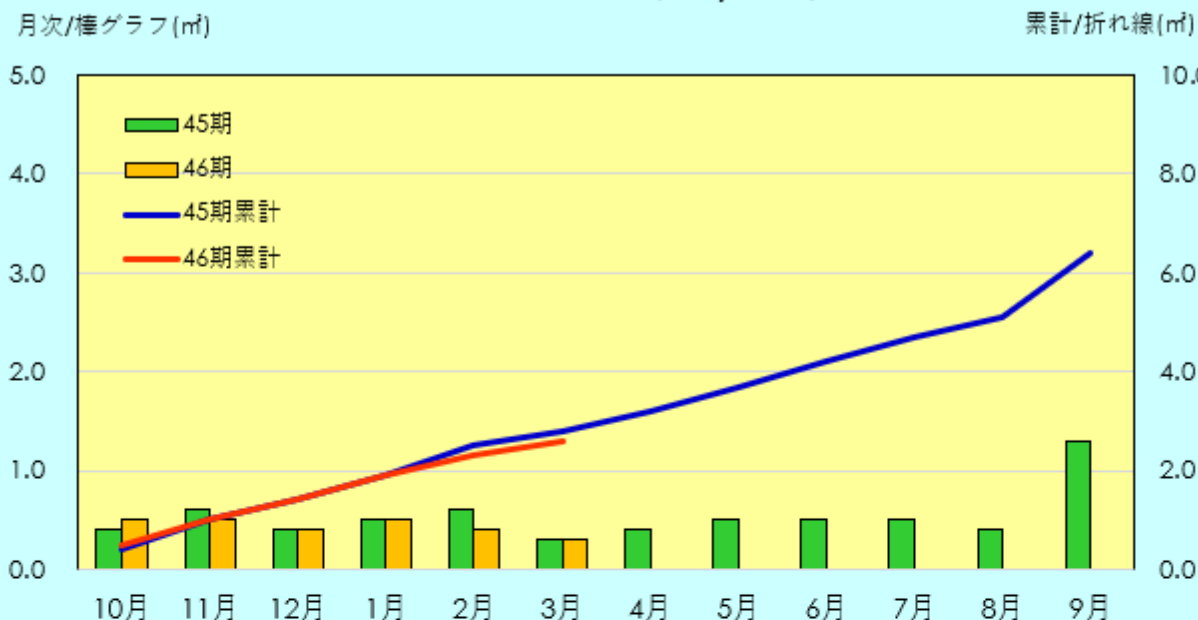
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



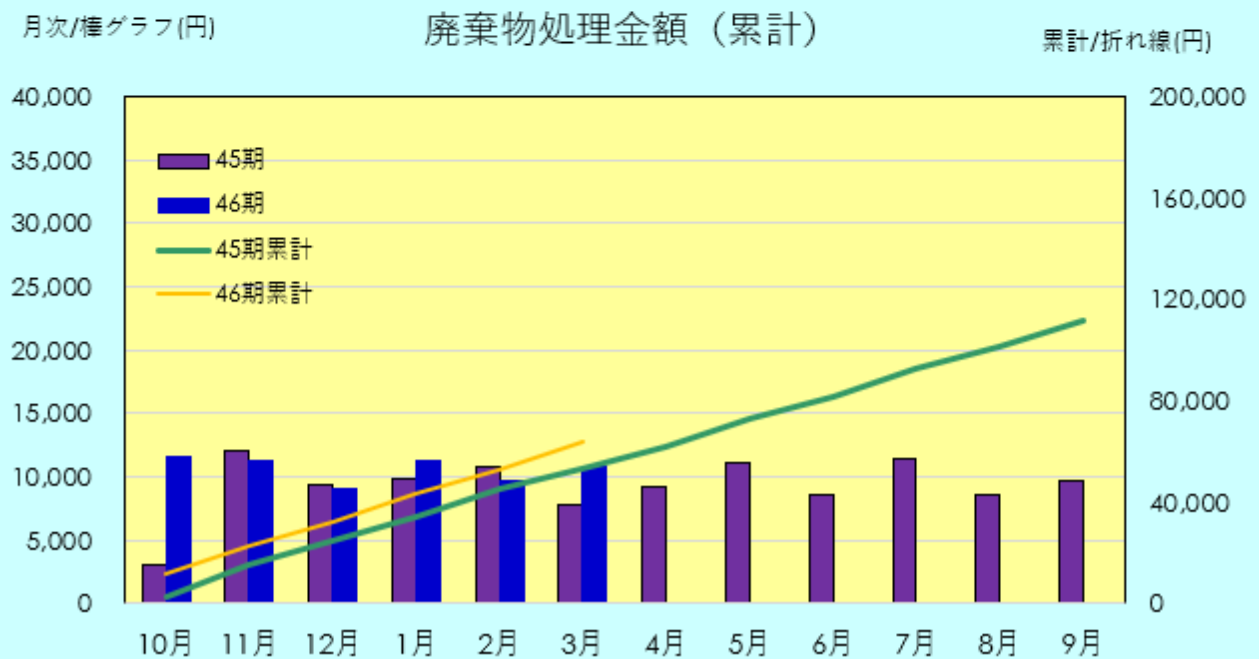
一般廃棄物 (SSD/本社)



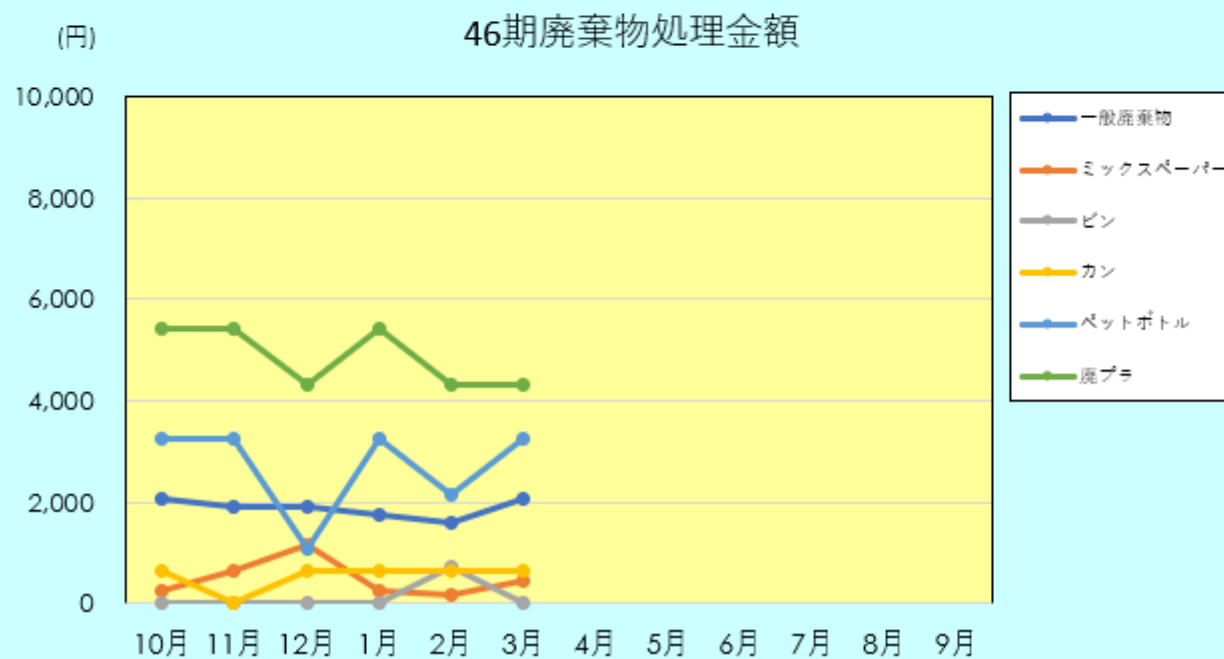
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



廃棄物処理金額 (累計)



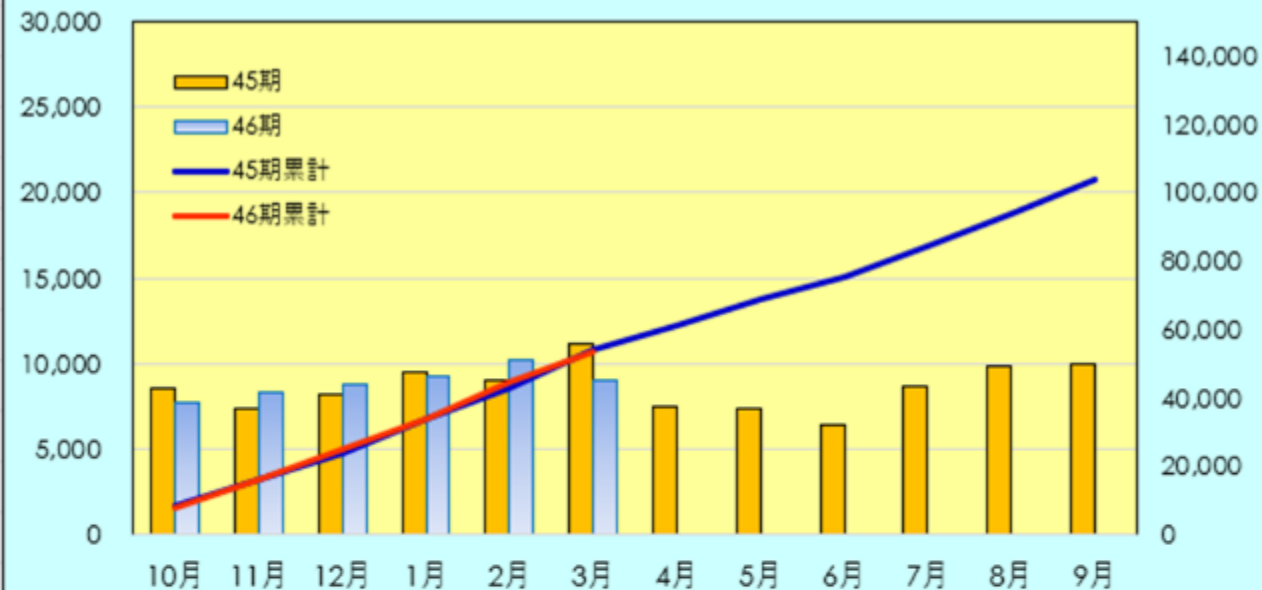
46期廃棄物処理金額



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

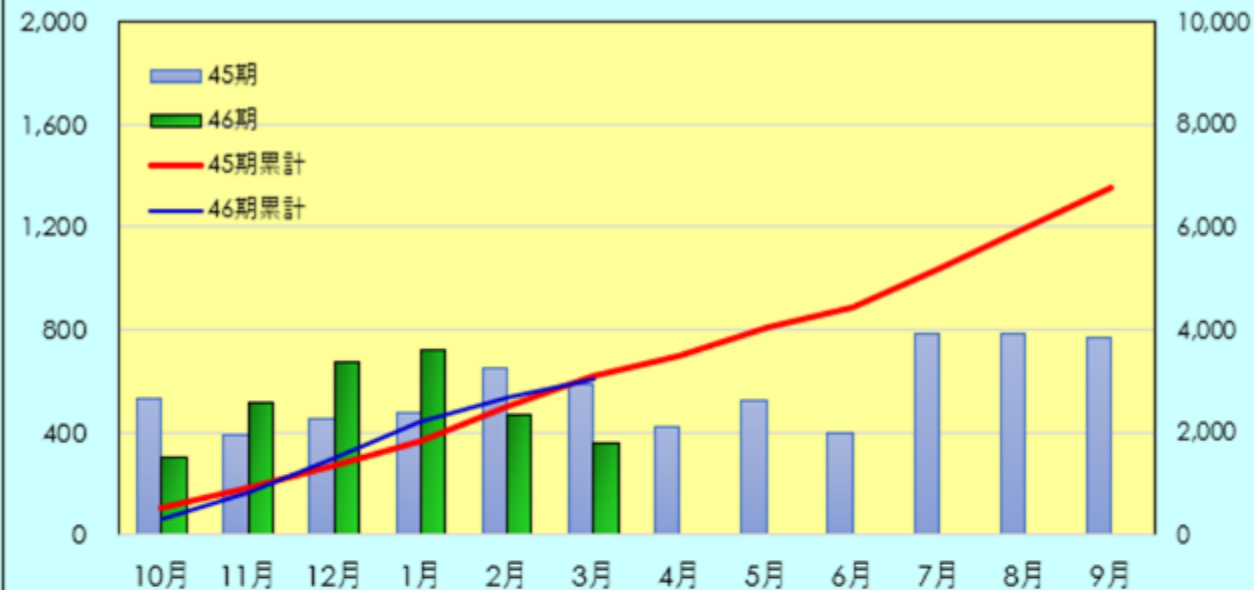
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

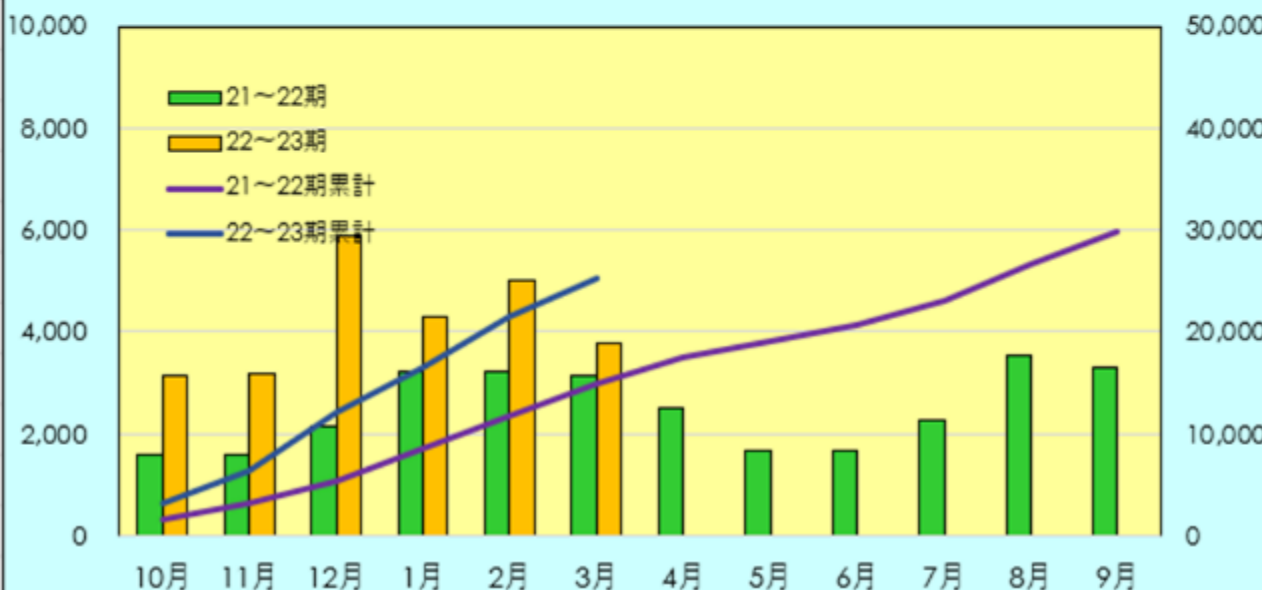
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

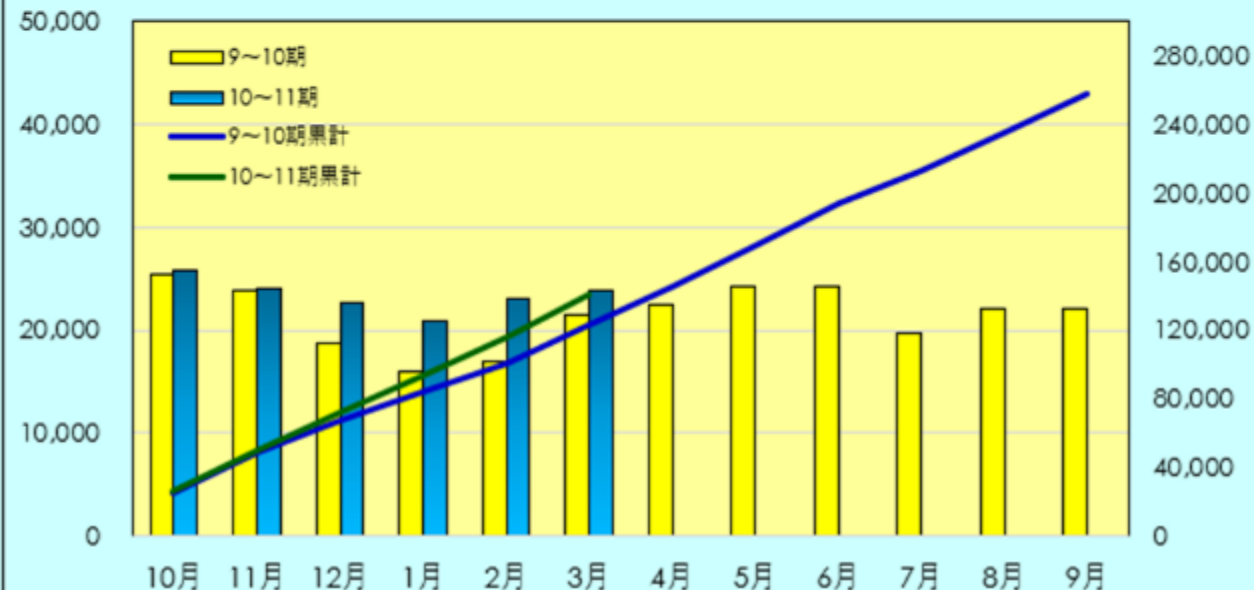
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

● 『SANSHIN大学2023年度講座終了報告』

2023年度のSANSHIN大学は、2024年3月31日をもって全講座・講義が終了致しました。昨年度は全5回にわたるEIGYO研修「EIGYO管理シート」など、実践的な講座を開催しました。

SANSHIN大学の受講は、業務に関する知識や技術の向上に効果があるだけでなく、生活や人生に役立つ知見の獲得にも役立っています。また、大学院受験や各種資格試験へのチャレンジ等、受講者の継続的なスキル・アップ、自己啓発にも繋がっています。サンシングループでは、これからも人財育成に積極的に取り組んでまいります。

詳細はHPにてご確認ください。

<https://sanshin-ele.com/SSU2023.html>



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（3月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

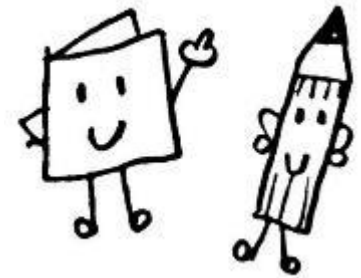


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2022年5月更新）⇒6年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



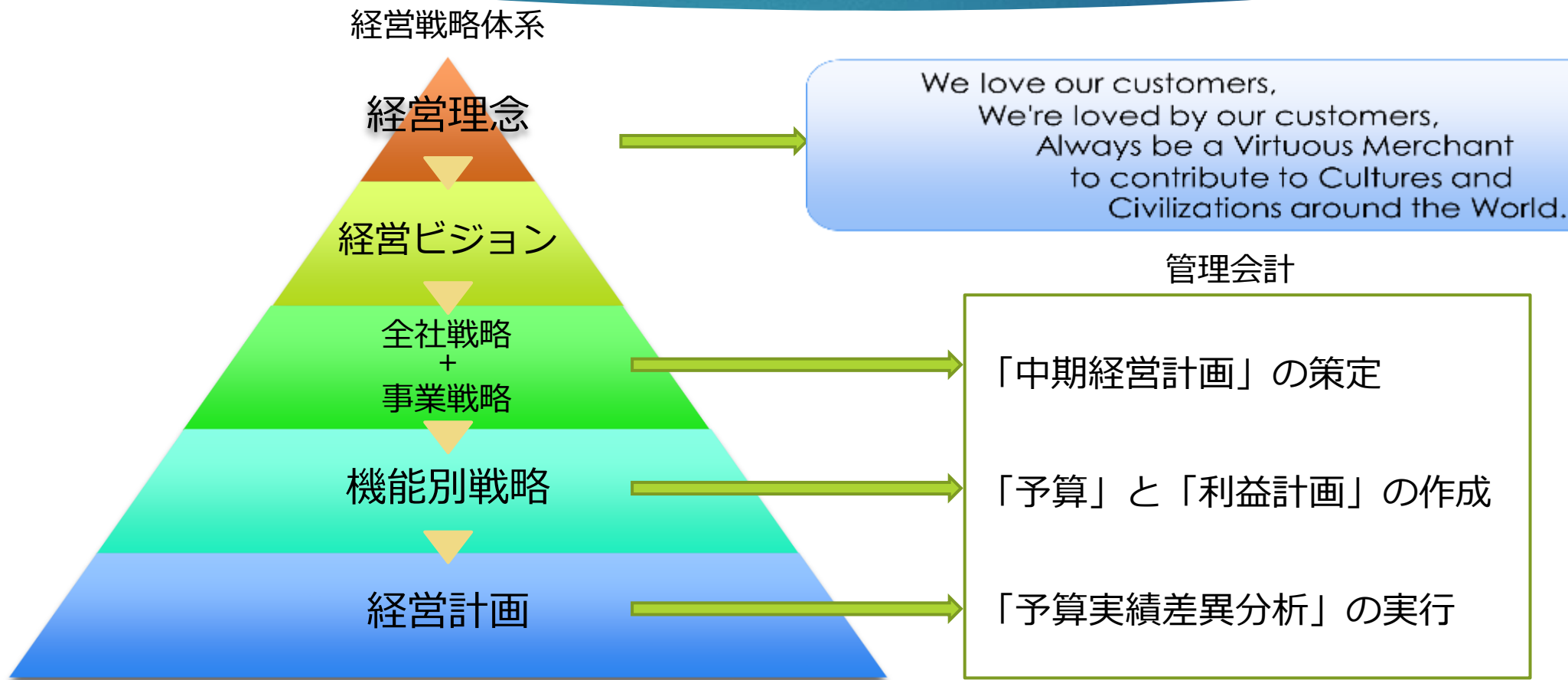
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

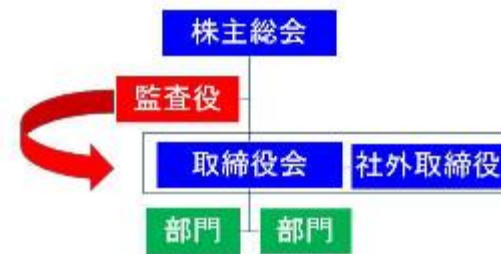
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

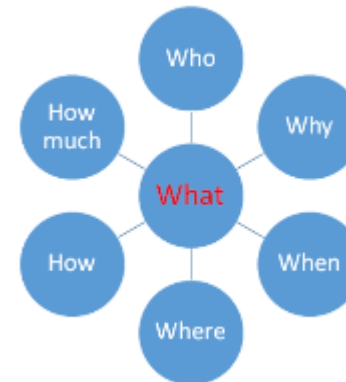


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



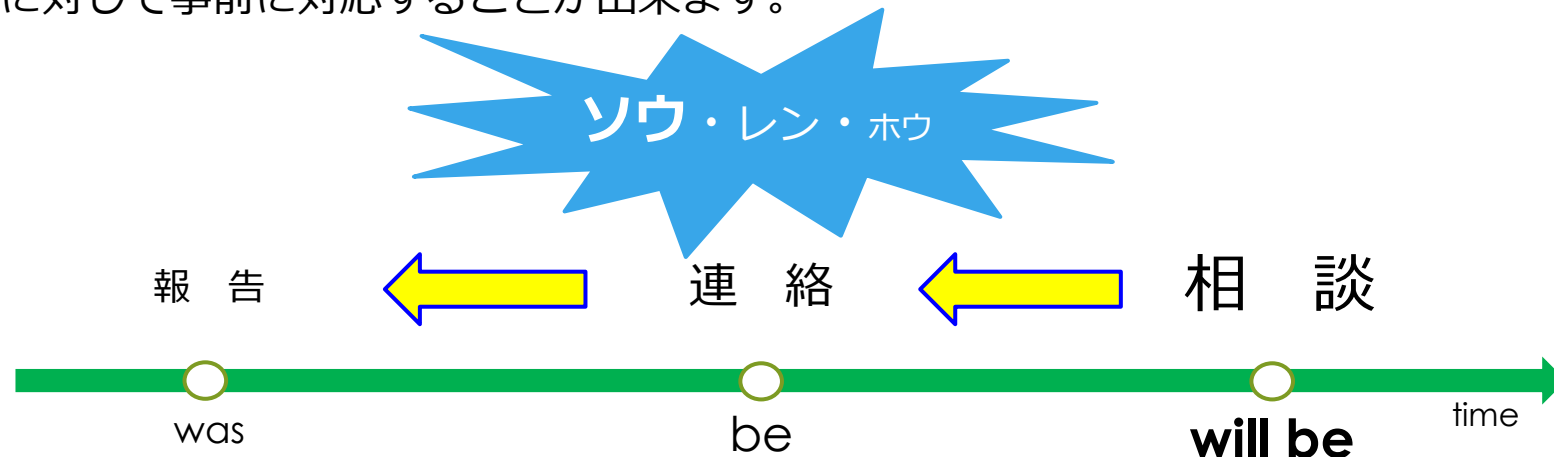
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

花粉の飛散も収まりつつありますが、今度は黄砂が飛んでくるようで…。つくづく空は繋がっているのだと認識させられます。WHOが発表した「世界でいちばん呼吸したい国」によると第一位はソロモン諸島だそうです（東京は32位）。なかなか訪れることの無さそうな場所ではありますが、本当にくしゃみが出ないのか試してみたいものです。